




第2回と第3回の開催概要

開催回	参加人数と内訳	事例テーマ ↓ 検討後の修正テーマ	事例提供者の感想(抜粋)
第2回	8名 都内拠点病院:3名 近県中核拠点病院:2名 近県拠点病院:1名 北海道ブロック拠点病院:1名 その他(大学):1名 	病名を誰にも告げたくない高齢患者の終末期に向けた準備を検討している事例 ↓ 患者が将来に向けた意思決定をするために必要な情報収集と情報提供が不十分だった事例	患者の思いを聞ききれていないことが分かった。「病気を告げたくない」という患者の思いにしっかりと向き合い、患者の話を聞くことができれば、支援の在り方が変わってくると思った。 
第3回	8名 都内拠点病院:3名 近県中核拠点病院:3名 その他(大学等):2名 	HANDの患者において、なんらかの社会的なサポートを利用した方が良くと思われるが本人・家族が拒否されている事例 ↓ 社会資源の利用に抵抗感のある本人・家族の思いをタイムリーにくみ取れなかった事例	外来受診が続く中でいくつかのターニングポイントがあったことが分かった。医学的な面から問題ないと判断しても、生活面や気持ちの面はどうなのか、みていく必要がある。本人や家族の思いを尊重したいと思っていたが、その方法が間違っていたことに気付いた。